

「長岡京市市民協働のまちづくり推進プラン」の見直しについて

～令和8年度の予定～

1. 第1回懇話会時の整理

本市では、市民協働のまちづくりを推進するにあたって策定している「長岡京市市民協働のまちづくり推進プラン」について、協働の推進のために行う事業や取組みについては、数値や一部の関係課の実施確認だけで表現することが難しく、プラン内容の本質をブレさせる場合や、ともすれば評価のためのプランになってしまっている傾向が見られ始めた。

主な事業について、市民協働意識や行動が定着してきたと考え、推進プラン令和3年度～令和7年度版の終了に合わせ、推進プランの在り方を抜本的に見直し、事業項目ごとのマニュアルや事業実施時の職員が市民参画・協働に向けてセルフチェックを行うガイドラインへの変更を検討。

- 第1回懇話会の中で賛成いただいた。市職員向け想定だったが、市民や市民活動団体視点のガイドラインも必要との意見も

2. 庁内の検討の中で出てきた方針

第1回懇話会が出た意見などをもとに庁内で検討した結果

- ・ (推進プランの上位存在である)長岡京市市民協働のまちづくり指針とガイドラインという名称が両方存在するとわかりづらい
- ・ 令和5年に制定した「助け合いとつながりのまちづくり条例」との整合性など、平成21年度に作成した長岡京市市民協働のまちづくり指針も、時代に合わせて見直した方がよい。時間をかけておこなうのが良い。

3. 令和8年度に行うこと

「長岡京市市民協働のまちづくり指針」を、「ガイドライン」情報も含めたものに再編

- ・ 必要に応じ、現状把握のための数値目標も設定。市民参加型評価についても検討
- ・ 言葉の定義をおこない、市民・行政の認識を統一する
- ・ 職員アンケートや団体聞き取りなどから、具体的な協働手法の記載の他、実例や成功体験などを事例集として記載し、職員が実務に落とし込みやすいようにする
- ・ 対等なパートナーとして、市民・団体に向けたマニュアルや考え方も掲載
- 令和9年度から活用開始予定(随時追加・削除)